

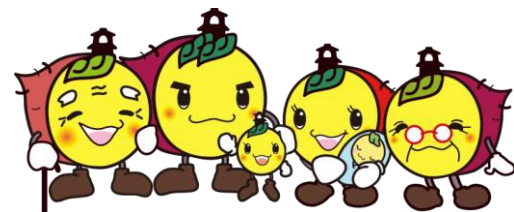
川越市

平成30年度9月補正予算のポイント



川越市シンボルマーク

平成30年8月





予算の規模及び概要

一般会計

3億5,183万8千円 (補正後予算額1,138億3,701万3千円)

【補正予算の特徴】

9月補正予算では、年度開始後の状況変化等を踏まえ、必要な経費を追加・増額するとともに、水害対策関連事業を計上しました。

主な内容

○歳出予算	・法人市民税等過誤納還付金	130,000千円
	・母子生活支援施設建設費補助金	8,402千円
	・道路維持補修関連事業	78,700千円
	・水害対策関連事業	5,400千円
	・認定こども園施設整備補助金	129,336千円
○継続費の補正	・蔵造り資料館耐震化事業	
○債務負担行為の補正	・英語指導助手派遣業務	



水害対策関連事業

(5,400千円)

監視カメラの画像を市ホームページで公開するとともに、江川流域都市下水路について増水時における排水作業のための環境整備を行います。

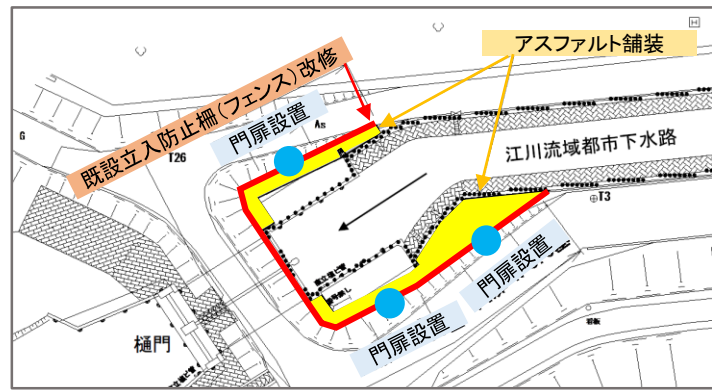
①監視カメラ画像の暫定公開【新規】 400千円

- カメラ設置場所(既設)…江川流域都市下水路樋門(1箇所)、芳野台遊水池(1箇所)

②排水作業のための環境整備 5,000千円

- 排水ポンプ車等による新河岸川への応急排水作業を円滑に行うため、樋門部分の作業環境を整備します。

①及び②の担当部署:建設部河川課



道路維持補修関連事業

(78,700千円)

市道の安全確保と道路環境の改善を図るため、必要な経費を増額します。

- 舗装や側溝の補修工事費の増額(4,900万円)とともに、道路破損の修繕や側溝清掃等に要する経費を増額(2,970万円)します。

担当部署:建設部道路環境整備課



蔵造り資料館耐震化事業

(継続費の補正)

耐震化工事の過程において建物の柱、梁等に多くの腐朽が発見され、その復元修理に伴い工期の延長等を要するため、継続費の変更を行います。



- 期間 補正前 : 平成28～30年度の3年間
補正後 : 平成28～32年度の5年間
- 総額 補正前 : 1億9,600万円
補正後 : 3億600万円

担当部署:教育総務部博物館

英語指導助手派遣業務

(債務負担行為の補正)



小・中学校等に英語指導助手を計画的に配置するため、債務負担行為を設定します。

- 債務負担行為として限度額を1億9,000万円、期間を平成30年度から平成33年度までと設定します。

担当部署:学校教育部教育センター